

平成25年度決算公告

札幌市中央区南1条西6丁目20番1号
常口セーフティ少額短期保険株式会社
代表取締役 萩野 克己

平成25年度(平成26年3月31日現在)貸借対照表

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金及び預貯金	235,362	保険契約準備金	90,795
現 金	421	支払備金	3,745
預 貯 金	234,940	責任準備金	87,050
有形固定資産	1,802	代理店借	537
建物付属設備	1,192	再保険借	194,127
その他有形固定資産	609		
無形固定資産	2,756	その他の負債	78,856
ソフトウェア	2,728	未払法人税等	13,944
その他	28	未払費用	4,898
代理店貸	16,645	預り金	932
再保険貸	198,128	賞与引当金	3,515
貸倒引当金	△186	前受収益	55,516
		負債の部合計	364,318
その他の資産	76,922	(純 資 産 の 部)	
未収金	52,842	資 本 金	50,000
前払費用	21,361	利益剰余金	184,107
預託金	2,719	(その他利益剰余金)	(184,107)
		繰越利益剰余金	184,107
繰延税金資産	16,773	自己株式	△39,220
		(株主資本合計)	(194,887)
供託金	11,000	純資産の部合計	194,887
資産の部合計	559,205	負債・純資産の部合計	559,205

平成25年度

〔平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで〕

損益計算書

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	1,557,672
保険料等収入	1,554,304
保険料	803,213
再保険収入	751,091
回収再保険金	227,231
再保険手数料	481,372
再保険返戻金	42,488
責任準備金等戻入額	1,148
責任準備金戻入額	-
支払備金戻入額	1,148
その他経常収益	2,219
経常費用	1,496,326
保険金等支払金	1,047,967
保険金	239,190
解約返戻金	44,724
再保険料	764,052
責任準備金等繰入額	7,055
責任準備金繰入額	7,055
支払備金繰入額	-
事業費	441,304
営業費及び一般管理費	434,530
税金	4,257
減価償却費	2,761
賞与引当金繰入額	△245
その他経常費用	-
経常利益	61,345
税引前当期純利益	61,345
法人税及び住民税	22,318
法人税等調整額	△587
当期純利益	39,614

【貸借対照表の注記事項】

1. 有形固定資産の減価償却は定率法、無形固定資産の減価償却は定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。
2. 貸倒引当金は債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について税法の法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。
3. 賞与引当金は、役員賞与および従業員の賞与に充てるため、支給見込額を基準として計上しております。
4. 消費税等の会計処理方法は税込み方式を採用しております。
5. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、契約金額が300万円未満のため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
6. 有形固定資産の減価償却額累計額は 9,389千円です。
7. 繰延税金資産の総額は 16,773千円で、その内訳は普通責任準備金として 15,386千円および賞与引当金等によるものであります。
なお、「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以降に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率は、平成26年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異について従来の35%から30%となります。この税率変更により法人税等調整額は2,795千円増加し、繰延税金資産は同額減少しております。
8. 支払備金の内訳は、次のとおりであります。

支払備金(出再支払備金控除前)	74,905千円
同上にかかる出再支払備金	71,159千円
差引	3,745千円
9. 責任準備金の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金	80,596千円
異常危険準備金	6,454千円
合計	87,050千円
10. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンスリースにより使用しております。

11.金融商品に関する注記

(1)金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

代理店貸等にかかる信用リスクについては適切に管理しリスク軽減を図っております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金および預金	235,362	235,362	—
代理店貸	16,645	16,645	—
再保険貸	198,128	198,128	—
代理店借	(537)	(537)	—
再保険借	(194,127)	(194,127)	—

①負債に計上されるものについては、()で示しております。

②これらの金融商品はいずれも短期で決済されるため、時価は簿価にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。

12. 1株あたりの純資産額は 749,565円81銭です。

算定上の基礎である純資産の部の合計額及び普通株式に係る当期末の純資産額は いずれも 194,887千円、1株当り純資産額の算定に用いた当期末の普通株式の数は 260株であります。

13. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

【損益計算書の注記事項】

1. 正味収入保険料の内訳は以下のとおりであります。

保険料	803,213千円
再保険返戻金	42,488千円
小計(イ)	845,701千円
再保険料	764,052千円
解約返戻金等	44,724千円
小計(ロ)	808,776千円
差引(イーロ)	36,924千円

2. 正味支払保険金の内訳は以下のとおりであります。

保険金等	239,190千円
回収再保険金	227,231千円
差引	11,959千円

3. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は、以下のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前)	△22,972千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	△21,824千円
差引	△1,148千円

4. 責任準備金繰入額の内訳は、以下のとおりであります。

当年度普通責任準備金(イ)	80,506千円
前年度普通責任準備金(ロ)	74,436千円
異常危険準備金繰入額(ハ)	985千円
差引 (イ)－(ロ)＋(ハ)	7,055千円

5. 1株あたりの当期純利益は 152,364円33銭です。

1株あたりの当期純利益の算出には、期中平均発行済株式数(1,000株)から期中平均自己株式数(740株)を控除した260株で算出しています。

6. 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。